

育達高職外語專題講座4

誤訳しやすい例

萬國法律事務所日本法務顧問

輔仁大學跨文化研究所兼任講師

村永史朗

107/06/07

1. 中国語と同じ漢語が日本語にある場合

- 1.1 中国語と漢語で意味が同じとき
 - 例えば「契約」とか「所有権」とか、
 - これは問題ない。
- 1.2 中国語と漢語で意味が違うとき
 - これが問題になる。

質問1

- 「特別休暇」の日本語訳は「特別休暇」か？

答え

- 「特別休暇」の日本語訳は「年次有給休暇」。
- 日本でいう「特別休暇」とは台湾の「請假」のこと。

質問2

- 「都市更新條例」の日本語訳は「都市更新条例」か？

答え

- 「都市更新條例」の日本語訳は「都市更新法」。
- 日本でいう「条例」とは「自治條例」のこと。

2.中国語と同じ漢語が日本語にない場合 質問3

- 「罰鍰」の日本語訳は「罰金」か？

答え

- 「罰鍰」の日本語訳は「過料」。
- 「罰金」は日本語でも「罰金」。
- 「罰金」は刑罰で、「罰鍰」は行政罰。

質問4

- 「有期徒刑」の日本語訳は「有期禁固」か？

答え

- 「有期徒刑」の日本語訳は「有期懲役」。
- 受刑人在監獄内除了特殊規定者外，一律參加作業工作。

3.法律用語 質問5

「推定」與「視為」，差別在哪裡？

答え

- 民法第**1063**條第**1**項規定：「妻之受胎，係在婚姻關係存續中者，推定其所生子女為婚生子女。」
- 同條第**2**項規定：「前項推定，夫妻之一方或子女能證明子女非為婚生子女者，得提起否認之訴。」
- 「推定」可以推翻。

答え

- 民法第7條規定：「胎兒以將來非死產者為限，關於其個人利益之保護，視為既已出生。」
- 「視為」不可以推翻。
- 日本語も「推定（すいてい）」と「看做す（みなす）」

質問6

- 母公司、子子子子、總公司、分公司の日本語訳は？

答え

- 親会社、子会社、本社、支社。
- これらの関係は？

其他 質問7

- 「在本公司繼續工作，每滿1年發給0.5個月之平均工資，未滿1年者，以比例計給；最高以發給6個月平均工資為限。」
- 「未滿1年者」は「1年未滿の者」か？

答え 「1年未満の部分は」

資遣費試算表

※ 本系統僅供試算參考，詳細正確金額，請依實際個案計算。

受僱日期(目前服務之事業單位)	民國 96 年 1 月 1 日 (請輸入您在這個事業單位的到職日期)
勞動契約終止日	民國 106 年 6 月 30 日 (請輸入您在這個事業單位被資遣的日期)
事業單位適用勞動基準法之日	製造業 (73.8.1)
平均工資	100000 元/月 (請輸入您的月平均工資)
是否於94年7月1日至99年6月30日之間轉換新制	<input checked="" type="radio"/> 是 <input type="radio"/> 否 (全部適用舊制或全部適用新制者，請勾選"否")
轉換新制日期	民國 請選擇日期 年 請選擇日期 月 請選擇日期 日 (上述選項勾選"否"則此欄位免填)
適用勞動基準法前勞資雙方議定的資遣費	0 元 (此欄未填列者，僅就適法部分進行試算)

計算資遣費 重新計算

試算結果

◎ 舊制資遣費約 = 0 元

◎ 新制資遣費約 = 525000 元

◎ 基数：1. 舊制基数 = 0

2. 新制基数 = 5 1/4

◎ 資遣費合計 = 525000 元

說明：

- 資遣費依所填受僱日、勞動契約終止日、通用勞動基準法（以下簡稱勞基法）之日、轉換新制之日、平均工資等假設條件估算。
- 依勞基法第11條、第13條但書、第14條及第20條或職業災害勞工保護法第23條第1款、第3款或第24條第2款至第4款規定終止勞動契約者，雇主應依法給付勞工資遣費。
- 通用勞基法前後資遣費分段適用原則：
 - 依勞基法第84條之2規定，勞工工作年資自受僱之日起算。
 - 適用勞基法前之工作年資，其資遣費給與標準，依其當時應適用之法令規定計算；當時無法令可資適用者，依各該事業單位自訂之規定或勞雇雙方協商計算之(適用勞基法前之工作年資，因各事業單位標準不一，故未提供適用勞基法前年資之資遣費試算，請自行計算後，填入「適用勞動基準法前勞資雙方議定的資遣費」欄位。

其他 日常慣用說法

- 道路交通管理處罰條例 第 43 條：
- 「汽車駕駛人，駕駛汽車有下列情形之一者，處新臺幣六千元以上二萬四千元以下罰鍰，並當場禁止其駕駛：
- 二、行車速度，超過規定之最高時速六十公里以上。」
- 質問8
- 「行車速度，超過規定之最高時速六十公里以上。」という表現に曖昧なところはないか？

答え1

- 「這個意思不太懂
- 是我在限速**50**的路段，飆到**110**，就罰**6000-24000**
- 是這樣嗎
- 還是在時數**60**的路段，超過就罰」

答え2

- 修正「二、行車速度，超過規定之最高時速六十公里。」
- 理由、按法制用語，超過係指不含本數，以上、以下則包含本數。第一項第二款，又有超過、又有以上用語，導致實務上爭議不止，且與法制用語互相矛盾，爰刪除以上二字，俾免爭議及符合法制用語。

- ご清聴ありがとうございました